

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.113 2005.6.20

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 (学) 産業能率大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
Tel: 03-3704-9168 E-mail: JSEI@hj.sanno.ac.jp http://www.soc.nii.ac.jp/jsei

日本教育情報学会 第21回年会 参加申込み受付中 (事前参加受付 8月8日まで)

第21回年会開催にあたり、多数の方にご協力をいただきましたことに深く感謝いたします。多くの研究発表のお申込みありがとうございました。

参加お申込みにつきましては、次の要項をご確認の上、期限内に手続きくださいますようお願いいたします。多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2005年8月20日(土)・21日(日)

主 催 日本教育情報学会

後 援 滋賀県教育委員会, 大津市教育委員会

会 場 滋賀大学 教育学部

所在地 〒520-0862 滋賀県大津市平津2-5-1 (077-537-7818)

交 通 JR東海道線「石山駅」(京都駅から13分)下車バス10分バス停から徒歩7分
http://www.sue.shiga-u.ac.jp/doc/access_1.html

事務局 滋賀大学 教育学部教育実践総合センター内

日本教育情報学会第21回年会実行委員会

〒520-0862 滋賀県大津市平津2-5-1 (077-537-7818)

スケジュール

8月20日(土) 1日目		8月21日(日) 2日目	
9:30	受付開始	9:30	受付開始
10:00~12:30	課題研究発表 一般研究発表	10:00~12:30	課題研究発表 一般研究発表
12:30~13:30	昼食・休憩 (理事会・評議員会)	12:30~13:30	昼食・休憩
13:30~14:15	総会・学会賞表彰式	13:30~15:30	課題研究発表 一般研究発表
14:30~17:30	シンポジウム 基調講演・パネル討論		
18:00~	懇親会	15:45~17:30	課題研究発表 一般研究発表

受付: 研究棟1階

懇親会会場: 滋賀大学生協食堂

昼食は, 生協食堂が利用できます。

(1) シンポジウム

基調講演 「ユビキタス社会の教育情報を考える」

西之園晴夫 (NPO 法人 学習開発研究所代表, 京都教育大学名誉教授)

【趣旨】 ネットワークに接続できる環境は、従来は学校や自宅、公共施設等の固定された場所が多かったのですが、現在では駅のコンコースや喫茶店、移動中の列車の中など、無線 LAN が整備されて「いつでも、どこでも」インターネットに接続できるユビキタス社会が到来しつつあります。

ユビキタス社会では、いつでもどこでもネットを利用できますから、列車の席を予約したり、本を注文したり、電子図書館や電子博物館を利用すれば、源氏物語や解体新書の全ページを自宅で読むことも可能です。24時間、多様なサービスが展開されています。今回の年会では、e-Japan戦略やバーチャル・エージェントで構想されているデジタル・アーカイブを今一度、「ユビキタス社会での教育情報」という観点からその内容、活用、流通方法等の現状と課題を考究したいと思います。基調講演として若者のケイタイ文化は大学や社会にどのような変革をもたらしたかを中心に、ユビキタス社会の教育情報について西之園先生にお話しさせていただきます。

パネル討論 「デジタル・アーカイブの教育活用の現状と課題」

【コーディネータ】 宮田 仁 (滋賀大学教育学部教授)

【パネリスト】 後藤忠彦 (岐阜女子大学教授)

久保正敏 (国立民族学博物館文化資源研究センター教授)

井上 透 (国立科学博物館展示・情報部情報サービス課長)

【趣旨】 日本にはすでに教育情報として活用できる様々なデジタル・アーカイブが構築されていますが、基調講演を受け、パネル討論では、まず、久保先生に人智・文化・世界遺産の保存と共有を目指した文化資源のデジタル・アーカイブの現状と課題をご紹介いただき、次に、井上先生には国立科学博物館で実施しておられますデジタル・アーカイブをご紹介いただきます。そして、後藤先生には、博物館、図書館、学校が連携して今後取り組む課題であるデジタル・アーカイブの現状と課題を、教育情報の今後の姿と関連させてお話しいただきます。

(2) 課題研究テーマ

課題1 教育情報の流通 コーディネータ 井上 透 (国立科学博物館)

教育用 Web 教材や動画コンテンツをはじめとする様々なデジタル・アーカイブの教育利用が学校や図書館、博物館が連携してはじまっています。これらのデジタル・アーカイブ等の教育情報の流通に関して、現状と課題の報告や提言、教育利用への要望、教育実践での利用報告等、いろいろな観点からの発表を期待しております。

課題2 教育情報の活用 コーディネータ 林 徳治 (山口大学教育学部)

小・中・高等学校や大学でデジタル・コンテンツ等の活用による教育方法の改善や授業改善が実践されています。本課題研究では、教育方法の改善にいかに関与したかの研究報告を期待しております。Technology Push ではなく、Educational Demand からの活用の視点を重視した研究報告をお願いします。

課題3 教育情報の内容 コーディネータ 堀口秀嗣 (常盤大学)

教育用 Web 教材や動画コンテンツ等、様々なデジタル・アーカイブが学校や図書館、博物館等で利用可能となってきましたが、もう一度、教育用デジタル・コンテンツの内容と評価を再検討し、今、求められている教育情報の内容に関する研究報告をお願いします。

課題4 著作権と情報倫理 コーディネータ 宮田 仁 (滋賀大学教育学部)

ネットワークの利活用が盛んとなった現在、デジタル情報の著作権の遵守やネットワ

ーク配信に伴う著作権処理や肖像権，パブリシティ権等，「著作権は人権である」という立場に立った啓発や教育の重要性が指摘されています。著作権と情報倫理に関する授業実践や提言，現状と課題の報告，著作権教育に関わる教材開発等，様々な観点からの研究報告をお願いします。

課題5 特別支援教育と教育情報 コーディネータ 太田容次（滋賀大学教育学部附属養護学校）

教育情報の活用やネットワークの教育利用による特別なニーズを要する児童・生徒への特別支援教育に関する研究発表を広く求めます。アシスティブ・テクノロジー（拡大代替コミュニケーション）による支援機器開発や教材開発，カリキュラム開発や遠隔協同学習等の教育実践報告をお願いします。情報機器ベースではない子どもの真のニーズに応じた教育情報の活用研究をお願いします。

（3）一般研究発表のセッション

- (1) e-learning
- (2) メディア活用
- (3) 教育方法・授業分析・学習評価
- (4) 教育支援テクノロジー
- (5) 教育データベース
- (6) 情報活用能力
- (7) 大学教育

（4）発表の申込みについて

発表申込者には，発表の可否を連絡しています。申し込みをされた方で可否通知が届いていない場合は，申し訳ありませんが実行委員会までご連絡下さい。

発表を可とされた申込者に対しては，論文の執筆要項をお送りしています。

論文の原稿枚数は2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で，ワープロ出力したものを提出していただきます。 ・論文提出締切 2005年7月15日（金）

発表申込み期間は過ぎていますが，これからでも発表申込みができるセッションがあります。
ご希望の方は，年会実行委員会に至急お問合せください。

（5）発表一覧

申込みを受付けている発表（講演者・題目）は，以下の通りです。

本リストは案で，発表者の追加・キャンセルなどでセッション・発表順などが多少変更になる場合がございます。最終プログラムは次号 Newsletter でお知らせいたします。

（課題研究3） 教育情報の内容 20日（土） 10：00～12：30 A会場

-
- 1 A 1 校庭の理科図鑑 - 自然学習用検索システム -
坂口隆康（三木市立緑が丘小学校）
 - 1 A 2 ユニバーサルデザインに対応したVOD（Video On Demand）教材の提案
藤本貴壽・間奔・畝智徳（岡山理科大学大学院），大西荘一（岡山理科大学）
 - 1 A 3 デジタル・アーカイブを用いた異文化理解教育のための教材開発
- 演劇をテーマとしたデジタル・アーカイブの開発と著作権の処理 -
三宅茜巳・持田宗周（岐阜女子大学）
 - 1 A 4 演劇をテーマとしたデジタル・アーカイブの開発
- 舞台芸術の特性とデジタル・アーキビストに必要な能力 -
持田宗周・三宅茜巳（岐阜女子大学）

1 A 5 デジタル・アーキビスト養成のための教育体制について

谷口知司・後藤忠彦（岐阜女子大学）

1 A 6 家庭学習を学校から支援することが可能な e-L 倶楽部

堀口秀嗣（常磐大学），荒義明（藤沢市立善行小学校），前田真人（電子開発学園），
小林裕光（埼玉県立大宮中央高校）

（課題研究 5） 特別支援教育と教育情報(1)

20日（土） 10：00～12：30 B会場

1 B 1 障害児者用日本語版高度シンボルコミュニケーション・デバイスの開発

大杉成喜（国立特殊教育総合研究所），佐原恒一郎（千葉県立袖ヶ浦養護学校）

1 B 2 特別支援教育におけるアシスティブ・テクノロジーセンターの運営に関する研究

金森克浩（東京都立光明養護学校）

1 B 3 漫画的表現によるシンボルの有効性について

佐原恒一郎（千葉県立袖ヶ浦養護学校），大杉成喜（国立特殊教育総合研究所）

1 B 4 特別支援教育における自閉症の子ども達へのコミュニケーション支援

原宏和（滋賀県立八日市養護学校）

1 B 5 肢体不自由学校における児童生徒へのアシスティブ・テクノロジー・コンシダレーションについて

的場一彦（滋賀県立八幡養護学校）

（一般研究） e-learning

20日（土） 10：00～12：30 C会場

1 C 1 遠隔教育におけるメンターの養成プログラムの開発（2）

楓森博・谷里佐（岐阜女子大学）

1 C 2 授業での実践を通じた e-Learning 学習支援システムの評価と機能拡張

新行内康慈・安達一寿・中尾茂子・北原俊一・綿井雅康・

井口磯夫（十文字学園女子大学），橋本建司（合資会社 風夢）

1 C 3 インターネット利用による高大連携の仕組みと評価

青嶋智・秋山雄亮（岡山理科大学大学院），大西荘一・榊原道夫（岡山理科大学）

1 C 4 遠隔教育としての e-Learning システムの構築

河村勝久・志内伸光（東海大学教育研究所）

1 C 5 項目反応理論を利用した e-Learning の試み

村瀬考宏（中京短期大学），磯本征雄（岐阜聖徳学園大学）

1 C 6 デジタル・アーキビスト養成における e-Learning と Web コンテンツの構成

橋詰恵雄・谷口知司・後藤忠彦（岐阜女子大学）

1 C 7 AIMS-Gifu を活用した授業方法の開発と評価（2）～VOD と討議を組み合わせた学習～

加藤直樹・村瀬康一郎・興戸律子（岐阜大学総合情報メディアセンター）

（一般研究） メディア活用

20日（土） 10：00～12：30 D会場

1 D 1 ICT 活用による日英間交流促進に関する検討

成瀬喜則・長山昌子（富山商船高等専門学校）

1 D 2 国際交流学習に関する考察

高木浩志（宝塚市立高司中学校），田中博之（大阪教育大学）

1 D 3 携帯電話対応コメントカードデータベースシステムを活用した 2 千人規模のパピリオン展
示評価システムの開発と運用

宮田仁（滋賀大学教育学部）

1 D 4 IC 携帯・IC カード利用による出席管理システム

白川雄三・高橋誠（大阪学院大学），前川幸一（NTT ドコモ関西）

- 1 D 5 IT を利用した学校と保護者間の情報発信・収集の試行について
 ~携帯メールからのアンケート収集と不審者情報等のメール・掲示板における発信~
 山田信雄(各務原市鷺沼第一小学校)
- 1 D 6 携帯電話を活用した中学校情報教育の展開 - 携帯電話に付属する機能の利用 -
 増澤文徳(東京成徳大学中学・高等学校), 塚田慶一(東京成徳短期大学),
 大村正和(東京成徳大学中学・高等学校)
- 1 D 7 テレビ会議システムを利用した授業の効果
 坂本徳弥(横浜市立南山田小学校)
- 1 D 8 インターネットTV 電話の教育への活用
 安藤久夫・伊藤奈賀子(岐阜女子大), 佐藤正明(各務野高等学校),
 久世均(岐阜県教育委員会), 三宅茜巳・後藤忠彦(岐阜女子大)

(課題研究1) 教育情報の流通

(課題研究4) 著作権と情報倫理

2 1 日(日) 10:00~12:30 A 会場

-
- 2 A 1 後ろ向き理論を用いた動的な Web 学習教材の構築について
 田中淳司(中部大学大学院), 小山幸治(名古屋女子大学),
 足立義則・尾崎正弘(中部大学)
- 2 A 2 学習オブジェクト共有コンソーシアムにおける高等教育科目オントロロジーの国際比較
 三輪真木子(メディア教育開発センター)
- 2 A 3 博物館コンテンツの教育利用について - 装飾古墳データベースを利用した教材開発 -
 小堀昇(財団法人日本地図センター), 河野一隆(九州国立博物館),
 宮原健吾(京都市埋蔵文化研究所), 松場耕太郎(システム・ケイ)
- 2 A 4 デジタル・アーキビスト資格試行試験結果の分析
 久世均(岐阜県教育委員会), 安藤久夫(岐阜女子大学), 菅井修(各務原東高等学校),
 河渡祐一(多治見工業高等学校), 高納成幸(大垣北高等学校),
 亀山弘(羽島高等学校), 片桐郁至(大垣商業高等学校), 後藤忠彦(岐阜女子大学),
 横山隆光(川島中学校)
- 2 A 5 国立博物館におけるデジタル・アーカイブスの活用と課題
 井上透(国立科学博物館)
- 2 A 6 高等学校における知的財産権の保護促進をめざした授業実践と評価
 神月紀輔(滋賀大学), 宮田仁(滋賀大学教育学部)
- 2 A 7 大学生を対象とした実践の態度の育成を目指した情報モラル教育の研究
 林泰子(頌栄人間福祉専門学校), 宮田仁(滋賀大学教育学部)

(一般研究) 教育方法・授業分析・学習評価

2 1 日(日) 10:00~12:30 B 会場

-
- 2 B 1 受講者の知識や能力が「情報処理教育」に与える影響について
 橋本信也(中部大学 学生), 尾崎正弘(中部大学),
 小山幸治・武岡さおり(名古屋女子大学), 足立義則(中部大学)
- 2 B 2 Linux を用いた学習アセスメント支援システムの実装
 鳥海健(武蔵工業大学大学院), 松山実・安井浩之(武蔵工業大学),
 荒川信行(品川区立三木小学校), 石出勉(千代田区立九段中学校),
 森棟隆一(東京学芸大学附属高等学校)
- 2 B 3 教育評価と授業改善を支援する学習アセスメントシステムの開発
 石出勉(千代田区立九段中学校), 荒川信行(品川区立三木小学校),
 森棟隆一(東京学芸大学附属高等学校), 鳥海健(武蔵工業大学大学院)

- 2 B 4 プログラミング実習における自発性測定のための感情と自発性の関連分析
濱田美奈子・玉田春昭・中道上（奈良先端科学技術大学院大学）
武村泰宏（大阪芸術大学），Michael Barker（奈良先端科学技術大学院大学）
- 2 B 5 学習ニーズの変化と講義でのつまずき
和田武（愛媛大学総合情報メディアセンター），南本長穂（関西学院大学）
- 2 B 6 コメントコンテストの概要
奥野雅和（京都文京高等学校）
- 2 B 7 多様な学生によるチーム学習と個人学習とを総合した学習の研究 II
望月紫帆（NPO 法人学習開発研究所），西之園晴夫（佛教大学教育学部），
宮田仁（滋賀大学教育学部）
- 2 B 8 中学校における自主性を伸ばす教育方法の開発
井上史子（山口市立川西中学校），沖裕貴（山口大学大学教育機構・大学教育センター），
林徳治（山口大学教育学部）
- 2 B 9 地域に密着した子育て支援で活動の実践的研究
大西慶一・景山雄二（大阪女子短期大学幼児教育学科）

（一般研究） 教育支援テクノロジー 21日（日） 10：00～12：30 C会場

- 2 C 1 Perlによる電子教材の作成とインターネットでの活用
柏木肇（電気通信大学大学院・泰野市立南小学校）
- 2 C 2 HORB 利用による手話学習支援システム「マスコットドリル」の開発
間奔・藤本貴壽（岡山理科大学大学院），大西荘一（岡山理科大学）
- 2 C 3 キー入力を利用した学習態度認識システムの試作
村田奈緒子（滋賀大学 学生），岩井憲一（滋賀大学教育学部）
- 2 C 4 VBによるアニメーション作成によって得られる力と意識
宮地功（岡山理科大学）
- 2 C 5 手軽にできるCAI 教室でのユーザーや端末管理
西野茂（滋賀県立長浜北高等学校）
- 2 C 6 指導案オーサリングシステム TeaPoT の実装と評価
岩井憲一（滋賀大学教育学部），安倉健司（愛知県立豊橋西高等学校）
- 2 C 7 数値計算ツール Scilab による物理シミュレーション教材の開発
宮城優（東京都教職員研修センター）
- 2 C 8 Web 上の問題演習を支援するシステムの設計と吟味
木下昭一（聖徳大学）

（一般研究） 教育データベース 21日（日） 10：00～12：30 D会場

- 2 D 1 効率的なウェブ検索手法の検討
渡辺昌介（武蔵野情報学園大学部），高橋昭公（テル・リサーチ）
- 2 D 2 バーコードを用いた印刷物と電子メディアの有効利用の検討 2
林知代・後藤忠彦（岐阜女子大学），加藤直樹（岐阜大学総合情報メディアセンター）
- 2 D 3 教育研究資料のデジタル・アーカイブ化について 2
- デジタル博物館のための木田宏教育資料の情報化 -
谷里佐・後藤忠彦・浅野弘光（岐阜女子大学），
興戸律子・加藤直樹（岐阜大学総合情報メディアセンター）
- 2 D 4 広域遠隔授業における Web システムの開発
秋山雄亮・青嶋智（岡山理科大学大学院），大西荘一・榊原道夫（岡山理科大学）

- 2 D 5 ARIS-Gifu のオーナー権限付与処理による共同情報管理
興戸律子・村瀬康一郎（岐阜大学総合情報メディアセンター）
- 2 D 6 教育研究活動情報システム ARIS-Gifu の項目構成について
村瀬康一郎・興戸律子（岐阜大学総合情報メディアセンター）

（課題研究 2） 教育情報の活用(1) 2 1 日（日） 13：30～15：30 A 会場

- 3 A 1 学習者の思考タイプの分類に基づく数学指導法の提案
北村光一（滋賀県立水口高等学校），林徳治（山口大学教育学部）
- 3 A 2 協同学習のための情報共有システムの活用
橋本恵子（純真女子短期大学），若菜啓考（東和大学），林徳治（山口大学教育学部）
- 3 A 3 発展的な学習を支援する学び合う仕組みとしての「きのくに eラーニング」
小山宣樹（和歌山県教育センター学びの丘），新地辰朗（宮崎大学教育文化学部）
- 3 A 4 共同学習の場としての Wiki の活用に関する考察
横田学（京都市立芸術大学美術学部）
- 3 A 5 情報通信ネットワーク活用による中等教育学校「国語（方言）」の授業設計と学習評価
新地辰朗（宮崎大学教育文化学部），土屋良博（宮崎県立都城西高等学校），
小山宣樹（和歌山県教育センター学びの丘）

（課題研究 5） 特別支援教育と教育情報(2) 2 1 日（日） 13：30～15：30 B 会場

- 3 B 1 特別支援教育における IT を利用した進路支援ネットワークシステムの構築と活用について
荒井裕之（山形大学附属養護学校）
- 3 B 2 特別支援教育で電子掲示板を利用した場合のコミュニケーション活性化に関する一考察（2）
石部和人・太田容次・木村政秀・辻野賢治・西堀二郎（滋賀大学附属養護学校），
宮田仁（滋賀大学教育学部）
- 3 B 3 e-portfolio を利用した振り返り支援に関する一考察
太田容次・石部和人・木村政秀・辻野賢治・西堀二郎（滋賀大学附属養護学校），
宮田仁（滋賀大学教育学部）
- 3 B 4 病気療養中の子どもたちの学校における IT・ネットワークを活用した特別支援教育
小川幸宣（滋賀県立守山養護学校）
- 3 B 5 特別支援教育におけるコミュニケーション能力育成に関する研究
- 場面理解が困難な学習者への支援のために -
西堀二郎・太田容次・石部和人・木村政秀・辻野賢治（滋賀大学附属養護学校），
宮田仁（滋賀大学教育学部）
- 3 B 6 障害のある子どもの ICT を活用した国際理解教育について
服部晃・小林憲一郎（岐阜女子大学），加藤友仁（岐阜製学校），
山田英貴・日々野清高（岐阜県教育委員会）

（一般研究） 情報活用能力(1) 2 1 日（日） 13：30～15：30 C 会場

- 3 C 1 オーディエンスに着目した効果的なプレゼンテーションの技術の実証研究
- 聴く姿勢・態度の調査を通して -
黒川マキ（大阪学院大学），林徳治（山口大学教育学部）
- 3 C 2 情報発信を用いた外国語教育と情報教育の融合の試み
高原尚志（県立新潟女子短期大学），関昭典（県立新潟女子短期大学）
- 3 C 3 短大における英語運用能力の向上を目指した e-Learning 支援システムの構築
山本健一（岐阜女子大学），磯本征雄（岐阜聖徳学園大学），山田善久（岐阜経済大学），
武田康雄（名古屋経済大学），長谷川信（名古屋市立大学大学院）

- 3 C 4 守山市におけるデジタルコンテンツの開発
 奥村信夫（守山市教育研究所），大崎寿（守山小学校），
 佐保田勇一（物部小学校），清水好澄（小津小学校），佐野亘（遠野小学校），
 長田光広（中州小学校），森川茂樹（守山中学校），太田聡（明富中学校），
 宮田仁（滋賀大学教育学部）
- 3 C 5 動画コンテンツを活用した教育実践の創造 - 中学校数学「和算」の授業実践 -
 西松秀樹（滋賀大学教育学部）
- 3 C 6 高校生とデジタルアーキビスト資格試験の試行
 ~ 教科「情報」とデジタルアーキビスト試験 ~
 久世均（岐阜県教育委員会），安藤久夫（岐阜女子大学），菅井修（各務原東高等学校），
 河渡祐一（多治見工業高等学校），高納成幸（大垣北高等学校），
 亀山弘（羽島高等学校），片桐郁至（大垣商業高等学校），後藤忠彦（岐阜女子大学），
 横山隆光（川島中学校）

（一般研究） 大学教育(1) 21日（日） 13：30～15：30 D会場

- 3 D 1 ストリーミングコンテンツとリフレクションデータベースの活用による大学授業の改善に
 関する研究（1）
 石丸雄一郎（滋賀大学大学院），宮田仁（滋賀大学教育学部）
- 3 D 2 プレディング型授業形態の類型による教材開発と授業実践
 中尾茂子・安達一寿・北原俊一・新行内康慈・綿井雅康・井口磯夫
 （十文字学園女子大学），橋本建司（合資会社 風夢）
- 3 D 3 大学用教育メディア開発におけるソフトウェア・教科制作事例に関する考察
 吉江森男（筑波大学学術情報メディアセンター）
- 3 D 4 階層化意思決定法を用いた教育機関への情報通信技術導入の評価
 澤田敬人（静岡県立大学）
- 3 D 5 コミュニケーションカードを用いた授業改善の試み（2）
 - 授業者からの返信の特徴の分析を中心に -
 南部昌敏（上越教育大学学校教育総合研究センター）

（課題研究2） 教育情報の活用(2) 21日（日） 15：45～17：30 A会場

- 4 A 1 大学生の情報編集能力の育成を図る授業実践
 谷口由美子（京都市立芸術大学美術学部）
- 4 A 2 ICTを用いた教育評価と授業改善 - 学習アセスメント支援システムの開発に向けて -
 荒川信行（品川区立三木小学校），石出勉（千代田区立九段中学校），
 森棟隆一（東京学芸大学附属高等学校），鳥海健（武蔵工業大学大学院），
 木下昭一（聖徳大学 教授）
- 4 A 3 学生参画型授業モデルの開発に関する実証研究
 ~ 討議・批判・論理・表現伝達能力の育成 ~
 井上史子（山口市立川西中学校），林徳治（山口大学教育学部），
 沖裕貴（山口大学大学教育機構・大学教育センター），黒川マキ（大阪学院大学），
 橋本恵子（純真女子短期大学）
- 4 A 4 「学び」の保証をおこなうための講義データベース構築に関する基礎的研究
 大西慶一（大阪女子短期大学幼児教育学部），
- 4 A 5 P C M・強制連結法を取り入れた学生参画型授業の実践
 林徳治（山口大学教育学部）

(課題研究5) 特別支援教育と教育情報(3)

21日(日) 15:45~17:30 B会場

- 4B1 特別支援教育における電子掲示板を利用した卒業生へのアフターケアの試行(2)
小栗信(和歌山県立紀北養護学校), 神谷宏枝(和歌山大学附属養護学校)
- 4B2 特別支援教育に関わる関係機関の連携に関する考察
~関係機関(教育・医療・福祉)への質問紙調査を元に~
木村政秀・太田容次・石部和人・辻野賢治・西堀二郎(滋賀大学附属養護学校),
宮田仁(滋賀大学教育学部)
- 4B3 知的障害養護学校における「生活力」につながる情報教育
~社会資源の利用を意図した遠隔協働学習への取り組み~
高市幸造(愛媛大学附属養護学校)
- 4B4 湖南市発達支援ITネットワーク(KIDS)の取り組み
西谷淳(湖南市教育委員会)
- 4B5 特別支援教育における電子掲示板を利用した多数校・多人数による遠隔協働学習に関する考察
藤田美佐緒(香川県立香川中部養護学校), 呉屋光宏(糸満市立糸満中学校),
太田容次・石部和人(滋賀大学附属養護学校), 高市幸造(愛媛大学附属養護学校),
金森克浩(都立光明養護学校), 小栗信(和歌山県立紀北養護学校),
小塚雄一郎(石川県立七尾養護学校珠洲分校), 中野美佳(香川県立香川中部養護学校),
加藤仁道(都立武蔵台養護学校)

(一般研究) 情報活用能力(2)

21日(日) 15:45~17:30 C会場

- 4C1 日本の伝統色に関する色彩ソフトウェアの開発
橋本美保(明星大学大学院), 光成豊明(明星大学)
- 4C2 鑑賞教育におけるデジタル・メディアの変遷
熊野佳恵(山口大学大学院)
- 4C3 教科「情報」向けに論理的問題解決能力を調べる問題集を作ろう
松本宗久(大阪学院大学高等学校)
- 4C4 教科「情報」・「数学」でのパソコン利用実践報告
栃木欣也(滋賀県立水口高等学校)
- 4C5 通信制高等学校における情報教育の実践と問題点について
小林裕光(埼玉県立大宮中央高等学校), 堀口秀嗣(常磐大学)
- 4C6 非集中モデリングの考え方を学ぶための遠隔教育教材の開発
本郷健(川村学園女子大学)

(一般研究) 大学教育(2)

21日(日) 15:45~17:30 D会場

- 4D1 大学における司書教諭資格科目の現状
三輪眞木子(メディア教育開発センター), 村主朋英(愛知淑徳大学),
竹内比呂也(千葉大学), 吉田右子(筑波大学), 辻慶太(国立情報学研究所),
柴田正美(帝塚山大学)
- 4D2 短期大学生によるCATV番組の制作についてIII
鎌本京子(樟蔭東女子短期大学), 白川雄三(大阪学院大学)
- 4D3 社会が求める能力に対応した短期大学における情報教育のあり方
大森雅人(湊川短期大学), 正司和彦(兵庫教育大学)
- 4D4 子供と共に作る動く絵本の簡易作成法
清水憲二(東京文化短期大学),
- 4D5 認証評価体制に対応する教育目標の設定と達成度評価のあり方に関する山口大学の取り組み
沖裕貴(山口大学大学教育機構・大学教育センター)

(6) 参加申込方法

同封の郵便振替用紙が申込書を兼ねます。必要項目を記入し、郵便局の窓口またはATM、APMで手続きください。手数料は1万円まで70円(ATM・APMご利用は60円)になります。同封の郵便振替用紙を紛失した場合、または追加用紙が必要な場合は、郵便局備付けの用紙をご利用ください。

なお、期日を過ぎた場合は、当日会場受付でお支払いください。その場合、参加費は当日扱いとなります。

参加申込締切(郵便局窓口期限) 2005年8月8日(月)

郵便振替口座番号 00920-0-278663

口座名 日本教育情報学会第21回年会

(学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください)

参加費

- ・ 会員事前申込締切日まで 参加費3,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円
 - ・ 会員(当日)・非会員 参加費4,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円
- 論文集は、年会当日受付にてお渡しいたします

○後援関係の方

滋賀県教育委員会、滋賀県にお勤めの現職教員の方の参加を歓迎します。

この方の参加費は無料とします。(論文集代は、実費申し受けます)

ただし、発表者の方は参加費をお納め下さい。

当日、会場内の「年会滋賀県関係受付」にお越しください。

・論文集の郵送申込について(年会に参加されない方)

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申込をしてください。年会終了後論文集を送付いたします。

論文集 3,500円(郵送費、事務諸経費を含む)

(7) 宿泊について

- ・ 宿泊に関しましては、各自で手配いただきますよう、お願い申し上げます。

〔最寄りのビジネスホテルのご案内〕

- ・ **びわこ石山ホテル**(JR石山駅前) 大学まで京阪バスで約20分
<http://www7.ocn.ne.jp/~bih/> Tel: 077-533-0660
- ・ **瀬田アーバンホテル**(JR瀬田駅前) 大学までJRと京阪バスで約35分
<http://www.seta-urban.co.jp/> Tel: 077-543-6111
- ・ **ホテルニューサイチ**(JR瀬田駅前) 大学までJRと京阪バスで約35分
<http://www.hotelnewsaiichi.com/> Tel: 077-543-2511

問合先

〒520-0862 滋賀県大津市平津2-5-1 077-537-7818

滋賀大学 教育学部教育実践総合センター内

日本教育情報学会第21回年会実行委員会

実行委員長 宮田 仁 (miyata@sue.shiga-u.ac.jp)

***** 情報教育セミナー 2005 - 情報通信システムの活用 -のご案内 *****

「情報教育セミナー 2005」が次のとおり開催されますので、ご案内いたします。
本セミナーは日本教育情報学会が後援いたします。

開催日 2005年8月2日(火) 10:00~15:30
会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)富士の間
(東京都千代田区九段北4-2-25)

セミナーの名称 「情報教育セミナー 2005 - 情報通信システムの活用 -」

主催 財団法人 学習ソフトウェア情報研究センター
後援 文部科学省, 全国都道府県教育委員会連合会, 東京都教育委員会, 日本教育情報学会
協力 株式会社日本教育新聞社

参加定員 150名

参加対象 全国の小・中・高校の教師, 教育行政関係者, 教育関係団体の役職員

参加費 2,000円 ただし学情研研究会員は無料

申込み切日 2005年7月25日(月)

申込み方法 「参加申込書」(学情研ホームページから入手してください)に必要事項をご記入の上、郵送、FAXまたはE-Mailにて事務局に送付。

詳しくは、学情研ホームページで確認してください。

<http://www.gakujoken.or.jp>

問合せ・申込先 〒160-0012 東京都新宿区南元町23 公立共済四谷ビル

財団法人 学習ソフトウェア情報研究センター

TEL:03-5919-3401 FAX:03-5919-3402

E-Mail:gjk@gakujoken.or.jp

「情報教育セミナー 2005 情報通信システムの活用」 実施プログラム

10:15~11:15 基調講演

「授業に生かす総合Webサイト NICER」

独立行政法人メディア教育開発センター理事長

兼国立教育政策研究所教育研究情報センター長 清水 康敬

11:15~12:15 実践事例紹介(企業によるプレゼンテーション)

13:30~15:30 パネルディスカッション

「ネット社会を生きる子どもたち」

コーディネータ:林 徳治(山口大学教育学部教授)

パネリスト:木谷 秀勝(山口大学教育学部助教授)

佐和 伸明(千葉県柏市立旭東小学校教諭)

高木 洋子(NPO 法人カクテルプロジェクト推進機構JEARN 代表)

堀口 秀嗣(常磐大学国際学部教授)

横田 学(京都市立芸術大学助教授)

***** 第3回 21世紀の教育を考える会のご案内 *****

「第3回 21世紀の教育を考える会」が次のとおり開催されますので、ご案内いたします。
本研究会は日本教育情報学会が後援いたします。

開催日 2005年8月5日(金) 10:00~16:00
会場 岐阜女子大学 (岐阜市太郎丸80 Tel:058-229-2211)
主催 21世紀教育研究会
共管 岐阜県総合教育センター, 岐阜女子大学
後援 岐阜県教育委員会, (財)総合初等教育研究所, (財)松下教育研究財団,
(財)学習ソフトウェア情報研究センター, 日本教育情報学会
協催 学習システム研究会
参加費 無料
申込〆切日 2005年7月22日(金)
申込み方法 「参加申込書」(岐阜女子大学ホームページから入手してください)に必要事項をご記入の上, FAXにて事務局に送付。
詳しくは, 岐阜女子大学ホームページ内の「8/5(金)第3回「21世紀の教育を考える会」開催のご案内」で確認してください。

<http://dac.gijodai.ac.jp/21th/>

問合せ・申込先 21世紀教育研究会 事務局
〒500-8813 岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F
岐阜女子大学文化情報研究センター内
TEL 058-267-5237 FAX 058-267-5238

会場へのアクセス (JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から)
名鉄岐阜駅前4番のりばより, 岐阜女子大学・高美線「岐阜女子大学」行き
または「美濃」行き乗車(39分) 「岐阜女子大学」下車正門前下車

「21世紀の教育を考える会」プログラム

10:00~12:00 特別講演
「21世紀日本の教育課題」- 学校カリキュラムをどうつくるか -
安彦 忠彦 (早稲田大学教授 名古屋大学名誉教授 中央教育審議会委員)

13:00~16:00 分科会
・教育評価部会
・情報教育部会
・国際理解教育部会
・幼児期の教育部会
・総合的な学習部会